

台東区 伝統工芸の

来て、見て、体験



2017年1月14日(土)15日(日)

国立科学博物館 (東京・上野公園)

会場：国立科学博物館 日本館 2階 講堂

時間：10:00 ~ 16:00

入館料：一般・大学生 620 円 (団体 310 円)、高校生以下および 65 歳以上 無料

※ ものづくり体験に参加する場合は材料費がかかります

主催：国立科学博物館 共催：台東区 協力：台東区伝統工芸振興会

○当イベントは「21 世紀鷹峯フォーラム第 2 回 in 東京 工芸を体感する 100 日間」の連携イベントです



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

21世紀鷹峯フォーラム

東京
Tokyo

工芸を体感する100日間

～来て、見て、体験～ 台東区の伝統工芸

台東区は、江戸の昔から庶民のまち、江戸文化発祥のまちとして栄えてきました。今なお、粋でいなせな町人氣質、職人が培った伝統産業など、江戸時代の面影を残す都内有数の史跡・文化を擁しています。そんな下町の歴史と風土の中で生まれ、受け継がれてきた匠の技を多くの皆様に知っていただくとともに、ものづくりの楽しさを体験いただければと思います。



職人実演コーナー 時間：10:00～16:00



江戸袋物

(実演：藤井 直行氏)

江戸時代、絹織物や派手な模様の着物を禁じられた町人が、小物をおしゃれにすることで贅沢を求めたことで発展した袋物。

その「粋」なスタイルが、今でも好まれています。



木版彫刻

(実演：長尾 次朗氏)

木版画が一般に普及した江戸時代に、絵師・彫師・摺り師の分業体制が確立しました。

色の数が増える毎に版木も増える

版画。細かな模様の入った版木を、色や模様が狂わないよう彫っていかなければなりません。



ものづくり体験コーナー 時間：10:00～12:00 (受付は11:30まで) 13:00～16:00 (受付は15:30まで)

桐のペン皿 (指導：江戸指物職人 中西正夫氏)

桐で作られたペン皿に、かんや紙やすりをかけて仕上げます。

【対象】どなたでも (未就学児は保護者同伴)

【受付】順次受付 ※材料が無くなり次第終了

【所要時間】約15分 【材料費】600円



すだれのコースター (指導：江戸簾職人 田中 耕太郎氏)

竹ひごと綿糸を使って、江戸時代から続く伝統的な技法でコースターを編みます。一度に2枚作れます。

【対象】どなたでも (未就学児は保護者同伴)

【受付】順次受付 ※材料が無くなり次第終了

【所要時間】約15分 【材料費】500円



【国立科学博物館基本情報】

- 所在地：〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
- 入館料：一般・大学生 620円(団体310円 ※20名以上)
高校生以下および65歳以上は無料
- 開館時間：9:00～17:00 金・土曜日は20:00まで
(入館は各閉館時間の30分前まで)
※特別展「世界遺産 ラスコール展」については
土曜日の開館時間は9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日：毎週月曜日(祝休日の場合は開館し翌火曜日が休館)
12/28(水)～1/1(日・祝)
※12/26(月)、1/2(月)、1/9(月)は開館
- お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600
- ホームページ：http://www.kahaku.go.jp

